

2023年2月6日

31フィートオートフロアコンテナを活用した ラウンドマッチング輸送の開始について

当社は、全国通運株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：永田浩一、以下「全国通運」）とともに、全国通運が所有するオートフロアコンテナ※を活用し、株式会社 明治（本社：東京都中央区、代表取締役社長：松田克也、以下「明治」）と昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：新妻一彦、以下「昭和産業」）の共同による鉄道でのラウンドマッチング輸送を開始しました。

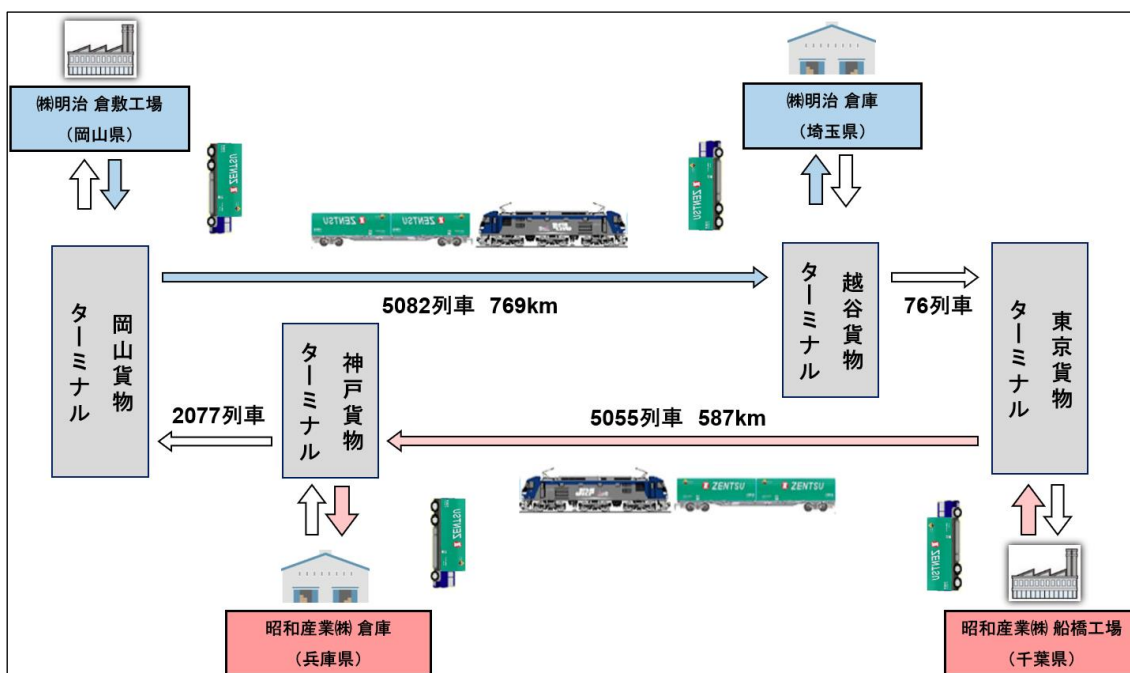
1. 概要

当社と全国通運、明治、明治ロジテック株式会社は、物流業務の省力化が実現出来るオートフロアコンテナの活用によるモーダルシフトを検討し、2021年9月より岡山県の倉敷工場から埼玉県の倉庫まで貨物鉄道輸送を開始しました。

輸送開始後、当社と全国通運は、復路において空回送となっていたコンテナの有効活用として、千葉県から兵庫県向けのモーダルシフトを検討する昭和産業と復路利用について検討し、2023年2月より両社の共同輸送を開始しました。

※オートフロアコンテナとは、全国通運が所有する荷台の床を電動でスライドさせる装置を備えた貨物鉄道輸送専用のコンテナです。荷物を荷室の入口に積み、床ごと奥にスライドさせることで荷物を荷室の奥まで移動できるため、積み卸し時に荷室内で作業を行う必要が無く、作業時間が短縮されるとともに、作業者の業務負担の軽減につながります。

ーラウンドマッチング輸送のスキームー



2. ラウンドマッチング輸送の特徴

当社と全国通運が提案するラウンドマッチング輸送により、お客様で手配していた片道輸送を往復輸送に切り替え、非効率な片道輸送の解消が可能となります。

あわせて、オートフロアコンテナの利用により、発着地での積卸し作業における大幅な省力化と荷役作業時間の短縮を考えたモーダルシフトが可能となります。また、これまで組み合わせが難しかった、トラック側面から積込む商品とドックシェルターから積込む商品を組み合わせた往復輸送が可能となります。

今回の取組みで、両社の物流の効率化を推進するとともに、明治の CO2 排出量を年間 13t（削減率 70%）、昭和産業の CO2 排出量を年間 20t（削減率 70%）削減することにも貢献します。

3. 今後について

当社は今後も JR 貨物グループのリソースを最大限活用し、お客様の抱える課題解決に取り組むとともに、お客様同士のマッチングの推進により、物流業務の効率化を実現し、物流における CO2 排出量の削減を図り、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。



オートフロアコンテナの貨車積載の様子



コンテナの内部